

トピカル切手展審査基準

公益財団法人日本郵趣協会
審査委員会

はじめに

トピカル切手展では、「トピカルコレクション」について「1つのトピック（作品で取り扱う「もの・こと」。作品のタイトルとなるもの）に沿って、郵便切手類を、その図案を基に論理的に分類したコレクション」と定義します。

郵便切手類には、郵便切手のほか、郵便切手が貼られた郵便物、消印、郵便はがきなどのステーションナリー（郵便事業者発行の郵便はがき、郵便書簡、航空書簡、国際返信切手券）、郵便切手の発行準備段階の資料（郵便切手類の採用原画、発行準備のための試刷（ダイプルーフ、プレートプルーフ）、見本切手など）などが含まれます。

トピカル切手展の審査は、日本国内独自の本審査基準により行います。

審査の評価項目と配点

1. 作品の構成(Treatment) …40点

(1) タイトルリーフ …10点

タイトルリーフの内容を評価します。タイトルリーフは、作品冒頭に標準リーフまたはワイドリーフでは1ページまたは2ページ、ダブルリーフでは1ページを用いて、作品のタイトル、作品概要、構成が記載されている必要があります。構成とは、作品のすべての内容を要約し、その内容が含まれるページを記したものであり、郵趣作品では「プラン」と呼ばれるものです。書籍で言えば、目次に相当します。

具体的には、タイトル、作品概要、構成の要素が分かりやすく示されているか、タイトルと構成が一致しているか、作品概要が作品内容の全体を網羅しているか、構成が適切かどうかを評価します。

構成の適切性についての評価ポイントは次の通りです。

- ・構成は、章と節などにより構成されているか。
- ・各章（および各節以下）が作品のどのページ（リーフ）に当たるかが、明確に示されているか。
- ・各章（および各節以下）のページ数のバランスが、一定の程度まで均等に取れているか。
- ・構成は、一貫していて論理的であるか。

(2) 論理的な分類 …20点

展示内容（郵便切手類、書き込み）が、タイトルリーフの構成と一致しているか、また、郵便切手類が作品として、一貫した論理的基準によって分類されているかを評価します。論理的な基準としては、トピックについて学術上認められた分類、または出品者がタイトルリーフの作品概要に示した、分かりやすく論理的な考えに基づく分類かのいずれかが推奨されます。

(3) 収集の網羅性 …10点

作品で設定されたトピックに対して、どこまで網羅的に郵便切手類が展示されているかを評価します。ここでは、展示されている切手の重要性（トピックと図案に密接に関係性があるかという点での重要性と、郵便切手類自体の郵趣界での重要性）を考慮するものとします。

また、地域や時代を限定したトピックの場合は、その必然性や、収集の難易度も踏まえて、評価が行われます。

2. 知識(Knowledge and Study) …25点

(1)トピックに関する知識 …10点

選択したトピックに関する知識の深さ、正確さ、簡潔さ、分かりやすさを評価します。日本国内で一般的に知識獲得の難度が高いテーマについても、この項目で評価します。

(2)郵趣知識 …15点

展示されている郵便切手類が多様性（バラエティ）に富んでいるか、またトピック、各章・節の書き込みと照らして適切な郵便切手類を選定できているかを評価します。

郵趣知識は、郵便切手類の外見だけでは分からない点に関して郵趣的な観点から書き込みを行ったり、特定の郵便切手類の製造面上の分類（印刷方式、色調、紙質、目打、裏のり、すかしなど）を示したりすることで表現できます。ただし、それらの郵便切手類の展示が、展示物の論理的な展開を大きく妨げていないことを前提とし、書き込みや郵便切手類によって示される知識の深さ、正確さ、簡潔さ、分かりやすさを評価します。

なお、郵便切手類以外の物品、変造品や偽造品を展示した場合、この項目で減点されることがあります。

3. 状態と稀少性(Condition and Rarity)…25点

(1)状態 …10点

郵便切手類に汚損や破損がないかを評価します。個々の郵便切手類の標準的な状態を基にした相対的な評価です。

(2)稀少性 …15点

展示されている郵便切手類の稀少性を評価します。稀少性は、市場流通している数量と、稀少な郵便切手類が作品全体を通してバランス良く配置されているかという観点によって評価を行います。ただし、郵趣知識の項に定義した「適切な郵便切手類」でない物は、稀少性の評価対象外です。

4. 展示物の美観(Presentation) …10点

郵便切手類のページ（リーフ）への貼り込み方、書き込み（文字の読みやすさ）、図示、ページそのもの（汚損や破損がないか、ページ・郵便切手類・書き込みの色彩の調和）、ページまたはフレーム全体としての郵便切手類や書き込みの密度のバランスといった総体的な美観を評価します。

なお、トピカル切手展で定義するトピカル収集の趣旨に照らし、郵便切手や小型シートは、図案がよく分かる未使用であること、消印の図案を示すときは印影が鮮明かつ鑑賞しやすい状態であることが望ましく、この点も本項目の観点に含めるものとします。

附則

この審査基準は、第19回トピカル切手展から適用する。